

～検査だよりは検査部門が年3,4回発行している広報誌です～

微量検体用採血管が新しくなりました

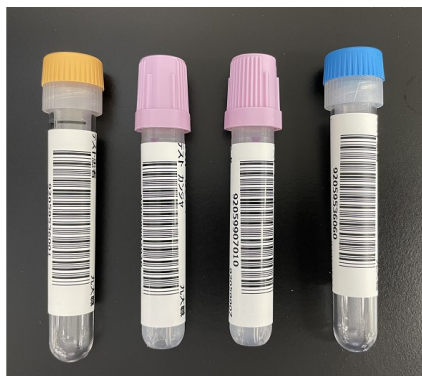
検査部 血液凝固検査室・生化学検査室

2025年11月から2026年1月にかけて、凝固、生化学検査の小児微量検体用採血管が新しくなりました。従来の採血管はオーダーラベルを貼り付けることができずご不便をおかけし、検査部内においても採血管への記名が発生し作業効率の低下や検査ミスにつながる状況となっていました。

今回、小児関連部署のご協力のもと、20年以上ぶりに採血管を変更することができました。新しい採血管は、ラベル貼り付け可能になったことにより、正確な患者識別につながるだけでなく、採血管のまま検査機器に投入できることから、より迅速で効率的な検査が可能となりました。検査部が取得しているISO15189の第4版においても、「サンプルへのラベリング」が要求事項として追加されており、これに適合した採血管は今後も多くの施設で普及していくものと考えられます。

検査部では、検査項目ごとに標準作業手順書というマニュアルを作成して検査を実施しています。採血管およびその遠心条件は、この標準作業手順書で冒頭に位置し、検査結果を決定付ける重要な要素のひとつとなっています。そのため、採血管導入においては、遠心条件以外にも、採血管変更による各検査項目への影響度合いや正確性の評価をおこなう必要があります。今後も検査の品質を維持しつつ、今まで以上に臨床のニーズを取り入れた検査体制を構築していければと考えております。

ミニコレクトを導入して数ヶ月が経ちますが、蓋が開けにくい/閉めにくい等の声を聞くことがあります。開栓時は片手の親指を斜め上に押し上げる、閉栓時は「カチッ」と音が鳴るまで確実に押し込む、これらのコツをつかむことで、よりスムーズにご使用いただけたと思います。



生化学、アンモニア、血算、凝固、
すべてラベル貼り付け可能な微量採血管になりました

《今号の紙面》

| | |
|-------------------|------|
| 微量検体用採血管が新しくなりました | …p.1 |
| 鉄分検査室 | …p.2 |
| 検体検査室からのお願い | …p.3 |
| 検体検査室からのお知らせ、編集後記 | …p.4 |



鉄分検査室 第71回 《 JR貝塚駅開業へ 》 白いかもめ

博多から鹿児島本線上り列車に乗車するとやがて左手車窓に広大な更地が目飛び込んでくる。九州大学箱崎キャンパス跡地である。

九州大学箱崎キャンパスから伊都キャンパスへの移転は、平成17年(2005)に始まり平成30年(2018)秋に完了した。しばらくはもぬけの殻になった建物群がそのままになっていた。戦時中の空襲を避けるため黒くコーラタールで塗装された跡の残る航空工学科棟は特に印象的であった。その後、ごく一部の保存建物を除き解体され広大な更地が広がっている。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

福岡市地下鉄箱崎線貝塚駅・西日本鉄道貝塚線貝塚駅に相対する鹿児島本線千早・箱崎間に新駅の工事が進められている。千早駅から2.3km、箱崎駅から1.7kmに位置する。昨年末JR九州はこの新駅名をJR貝塚駅に決定したと発表した。事前に駅名の公募が行われ、一位貝塚、二位JR貝塚、三位新貝塚、四位筥松、五位多々良川であったが、二位のJR貝塚が選ばれる結果となった。



九州大学箱崎キャンパス跡地

九州大学の前身の九州帝国大学は、箱崎松原の地を拓いて明治44年(1911)に開学した。箱崎キャンパスには昭和期末頃までは松原だった余韻を残すように松が多く点在していた。応永二十七年(1420)朝鮮回礼使宋希璟の〈老松堂日本行録〉には箱崎松原の様子を

西は大海に浜して平堤は閑広たり。中に雑樹なく唯だ白砂青松のみ。

と記されている。明治まで広大な松原が存在していた。

九州大学箱崎キャンパス跡地再開発計画は、スマートシティFUKUOKA Smart EASTとして令和10年度(2028)街開きし、令和18年度(2036)までに完成予定である。

JR貝塚駅は来年開業予定である。九州大学箱崎キャンパス跡地再開発地区の玄関口の役割が期待され、JR九州・福岡市地下鉄・西日本鉄道相互の接続・乗り換えの利便性の向上が図られる。



JR貝塚駅工事 2150M 普通折尾行

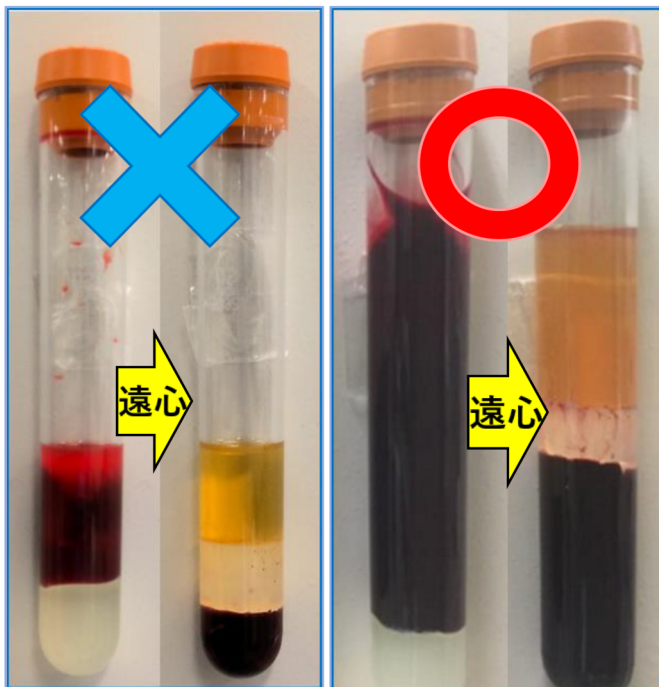
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

FUKUOKA Smart EASTの6つの理念の中に「九大100年の歴史の継承」、「みどりあふれる空間の創出」がある。九州大学開学前の松原の原風景の記憶の継承を期待したい。

採血業務に携わる医療従事者の皆様へ

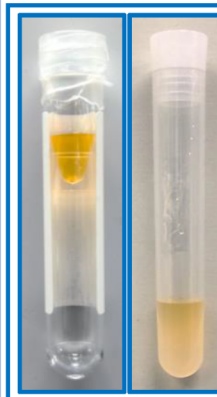
！ 量不足の検体が増加しています ！

※採血困難者・小児は除く



検査に使える量は
全血の半分程度です！

規定量が入るよう
陰圧設計されています！



少量検体は、
専用容器（左図）への
移し替え作業＋再遠心
を検査部で行っています。

手作業のためインシデント
（検体破損・検体取り違い）
が発生しています。

※過去の事例
2000348：分注間違いによる結果誤報告
2000515：分注作業における検体入れ違い
2000951：患者検体分注時の検体取り違い

・ 生化学の結果報告は
最大60分以上遅延

※複数項目依頼がある場合

➡ 診療・治療開始の遅れ

・ 量不足による再採血

➡ 患者負担増・業務負担増

・ 余分な陰圧により溶血
・ 検査値に影響※

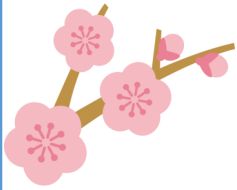
➡ K, LDH, AST偽高値

➡ 重炭酸イオン偽低値による
擬似的「代謝性アシドーシス」

※ 1. Tamechika E, et al. *Clin Chim Acta*. 2006.
2. Cornes MP, et al. *Ann Clin Biochem*. 2013.
3. Neuwinger J, et al. *Clin Chem Lab Med*. 2020.

！ 規定量の採血をお願いします ！

みなさまのご協力が、患者さんの安全と医療の質を守ります。



検体検査室からのお知らせ

令和7年12月26日(金)を最終委託日として、以下の項目が外部委託業者の項目集約化のため検査受託中止となりました。

【尿一般検査】■外注尿生化学

・尿中蛋白分画

【免疫学検査】■免疫学外注検査

- ・抗Jo-1抗体(オクタロニー)
- ・抗Sm抗体(オクタロニー)
- ・抗RNP抗体(オクタロニー)
- ・抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー)
- ・抗Scl-70抗体(オクタロニー)
- ・抗SS-B/La抗体(オクタロニー)

なお、自己抗体検査に関しては代替項目として院内検査(FEIA)がオーダー可能です。

令和7年12月4日(木)より委託業者先の使用測定試薬中止に伴い、測定原理と委託先業者が変更となりました。

【生化学(外注Ⅱ)】

項目名: 低カルボキシル化オステオカルシン(uCOC)

測定原理: CREIA 委託先業者: BML

相関: $Y=0.876X-0.082$ (n=197, r=0.982) Y: 新法、X: 旧法

【免疫学検査】■免疫学外注検査

項目名: 抗GAL欠損G(抗ガラクトース欠損IgG)

測定原理: CREIA 委託先業者: BML

相関: $Y=1.104X+2.974$ (n=195, r=0.976) Y: 新法、X: 旧法



問合せ先: 検体検査室 受付・外注(5771)

【編集後記】

第87号をお読みいただきありがとうございます。血液凝固検査室の諸熊です。

検査部には、現在約80名の臨床検査技師が在籍しています。臨床検査技師の仕事は、正確で迅速な検査を行うことはもちろん、日々の自己研鑽や研究活動を続けていくことも大切です。一方で、仕事と学び、研究、そして家庭や子育ての時間をどのように両立させていくかは、私たちにとって共通の課題でもあります。

私自身、子育てをしながら勉強会や学会活動に参加する中で、「ワークライフバランス」よりも、生活の中に無理なく仕事や学びを組み込む「ワークインライフ」という考え方の方が、現実的で続けやすいと感じるようになりました。

日々の仕事や家庭での小さな積み重ねが、専門職として、そして一人の人としての成長につながっていくのだと思います。それぞれの立場やライフステージを尊重し、支えあい、学び合える職場でありたいと願っています。

(諸熊)